

平成29年度鳴門教育大学教員免許状更新講習概要

選択領域

| | |
|-------|-----------------------------|
| 講習の区分 | 受講者が任意に選択して受講する領域 |
| 講習の名称 | 2020年南海トラフ巨大地震に備えた減災教育 |
| 受講者定員 | 80人 |
| 受講対象者 | 全教員 |
| 開設日 | 2017年8月21日 |
| 講習の形態 | 主として講義(一部演習) |
| 講習時間 | 6時間 |
| 講習会場 | 鳴門教育大学 地域連携センター 1階 多目的室(予定) |
| 担当講師 | 村田 守 |
| 受講料 | 6,000円 |

| | |
|-----------|--|
| 講習の内容 | 2020年頃に南海トラフ巨大地震が想定されている。1日の1/3を学校で過ごす子供たちの命を守るのは、教員の仕事である。地震国に住む教員は、何故地震が起こるのか、どのようにして地震活動の予測ができるのか、地震波の性質を知ることによって薬品棚・本棚・ブロック塀等の倒れる方向が予測できる等、地震災害を防ぐことはできないが災害を減少させることはできることを知っておかねばならない。そのためには、地震の発生するメカニズムを知るだけでは不十分であり、それを実生活に生かすことができるようになる講義(高校・大学で地学未履修者でも理解～大学院で地学専攻でも満足)を行う。 |
| 講習のねらい | 日本で生活する限り、地震から逃れることは出来ない。子供たちが1日の1/3を過ごす学校で被災する確率が高い。したがって、学校現場で児童生徒の命を預かる教員が知っておくべき減災・防災教育を行う。但し、消防署等が行う避難訓練を踏襲するのではなく、その原理を学び、応用力の向上を図る。 |
| 講習到達目標 | 南海トラフ巨大地震が起こった際に、本講習受講者の赴任校での被害が、他校に比べ少なくなることが、本講習の最終到達目標である。そのために、学校建物の安全対策、安全な本棚や薬品棚の向き、校区(通学路)の安全対策、火災と異なる地震用避難経路の作成、津波対策、原発震災対策、忘れた頃に起こる土石流対策、災害後の被災者受け入れ施設としての学校建物の対策等、受講生が各自の勤務校での対策ができるようになることを到達目標とする。 |
| 講習スケジュール | 平成29年8月21日 8時50分～ 9時00分 オリエンテーション 9時00分～10時30分 講義 10時40分～12時10分 講義 12時10分～13時00分 昼食休憩 13時00分～14時30分 講義 14時40分～16時10分 講義 16時18分～16時20分 試験説明 16時20分～17時00分 履修認定試験 17時00分～17時10分 事後アンケート、連絡事項 |
| 履修認定試験の方法 | 筆記試験 |
| 成績評価 | 成績評価は、講習の担当者が作成した試験の成績から判断します。 履修認定試験の結果、受講者の理解が到達目標に達したと認める場合は成績審査に合格した者としますが、その際の評価は60点以上の採点をもって行います。 |
| 持参するもの | ノート、筆記用具 |
| その他 | 地球環境保全のため、(超)軽装で出席ください。 受講申込みについては、「募集要項」を参照してください。 |